

第2期総合戦略「鳥取県令和新时代創生戦略（R2～6）」のR4年度取組結果

令和2年3月に策定（令和3年4月改訂）した「鳥取県令和新时代創生戦略」に基づく取組結果について、令和4年度末時点の状況を報告します。

1 取組結果の総括

- ・「鳥取県令和新时代創生戦略（R2～6）」では、豊かな自然や人々の絆等の鳥取県ならではの強みを活かし、時代の変化に応じた様々な施策を盛り込みながら、日本一の子育て環境の実現やあいサポート運動の展開等、全国をリードする地方創生を推進してきました。
- ・令和4年度末現在、全207項目の取組施策のうち197項目（95%）が「既に目標達成」又は「順調に進捗」としており、子育て・障がい者支援や関係人口の拡大、県民との協働連携等、これまで先駆的に注力してきた取組が着実に実を結びつつあります。
- ・一方で、コロナ禍やウクライナ情勢の影響により社会経済が大きな打撃を受ける中、観光・交流関係を中心として停滞を余儀なくされたものもあります。
- ・改訂後の新たな戦略においても、取組が停滞した分野を引き継ぎ、立て直しを進めていくと共に、地域課題の解決に向けた施策を積極的に展開して、さらなる地方創生の実現に繋げていきます。

2 取組施策の進捗状況（R6年度の施策目標達成に向けたR4年度末時点の進捗状況）

「鳥取県令和新时代創生戦略」における計207項目の取組施策のうち、進捗評価A（目標達成）が14項目、評価B（順調に進捗）が183項目となり、全体の9割以上が着実に成果をあげています。

区分	評価A （目標を達成）	評価B （順調に進捗）	評価C （やや遅れ）	計
項目数	14件（6.8%）	183件（88.4%）	10件（4.8%）	207件

<成果をあげている主な施策>

分野	項目	実績	R6目標	状況
農林水産業	生乳生産量	60,331トン	6万トン以上	目標達成
エコスタイル	1人1日当たりのごみ排出量	1,001g (H29: 1,050g)	965g	順調に進捗
	県内森林J-クレジット販売量	12,693t-Co2	9,150t-Co2	目標達成
出会い・子育て	産後ケアに取り組む市町村数	19市町村	19市町村	目標達成
人財とつとり	あいサポーター数	624,848人	555,000人	目標達成
	SDGsパートナー参画件数	企業団体534件 個人23件	500件	目標達成
移住・定住	プロフェッショナル人材戦略拠点マッチング件数	592人	75人(R2～4)	目標達成
	都市圏在住者を受け入れて地域の活性化に取り組む地域・団体数	63団体	30団体	目標達成
働く場	鳥取県事業引き継ぎ支援センターの事業承継診断件数	7,093件	2,400件 (R2～6)	目標達成
	県立ハローワークにおける女性の就職決定率	88.3%	70%	目標達成
まちづくり	空き家・空き店舗利活用のための年間マッチング件数	210件	200件	目標達成

※評価Cの項目については、コロナ後の状況変化等を踏まえて一層の取組推進を図ると共に、評価Bの項目についても改訂後の新たな戦略の中でさらなる発展・向上を目指します。

(1) 順調に成果をあげている主な取組施策（評価 A・B）

【Ⅰ 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる】

分野	取組施策	主な成果
①観光・交流	星取県・蟹取県など鳥取の認知度を高めるキャンペーンや戦略的な情報発信の実施	・最新の星空映像に合わせた星取県 VR のリニューアルを行い、約 200 名の体験者から高評価を得たほか、新たに県内企業による 2 品の「星取県コラボ商品」を造成。 ・全国どこでもカニや県産品を自宅から購入できる「メルカニ shops」をオープンし、SNS の連動企画を開催する等、蟹取県の PR を推進。
	鳥取うみなみロード等の魅力をアピールし、サイクリストの聖地として観光誘客を推進	・ナショナルサイクルルート指定を目指す県内候補ルートを「鳥取うみなみロード」に決定し、指定要件クリアに向けて「鳥取うみなみロード整備計画」を策定。 ・サイクリストをサポートする「コグステーション」が 4 施設、飲食店が 22 店舗、コンビニが 33 店舗、宿泊施設が 6 施設増加し、受入環境が充実。
	民間宿泊施設の障がい者対応客室の整備等、受入環境整備の促進	・アドバイザー派遣、施設認証、補助金、マップアプリの 4 つのステップで施設のバリアフリー化を支援する「とっとり UD プログラム」を創設。 ・バリアフリー対応の民間宿泊施設が 73 施設に増加。
②農林水産業	高品質生乳の安定確保に向けた、関係機関と連携した取組の実施	・夏場の生乳減産を抑える断熱整備支援やゲノム育種価検査による牛群改良、第三者継承による酪農資産の損失防止等により、目標とする 6 万トンの生乳生産量を確保。
	スマート農業の導入による生産性・収益性向上の推進	・ドローンや自動操舵機械の導入支援、講習会を通じたドローン操作人材の育成等の取組によりスマート農業の導入が着実に拡大。 ・中部地区で梨の防除予測システムの実証が開始。
	高度衛生管理市場の整備による高鮮度水産物流通の実現、安心・安全による水産物のブランド化の推進	・高度衛生管理市場 2 号上屋が令和 4 年 7 月に完成し、供用開始。大漁時にも安定的な衛生管理を堅持する体制を整備。 ・衛生管理マニュアルによる高度な衛生管理が評価され、令和 5 年 3 月に（一社）大日本水産会の優良漁港に認定。
③エコスタイル	「とっとりプラごみゼロ」や「食品ロス削減」に取り組み、循環型社会を実現	・1 人 1 日当たりのごみ排出量は目標の 965g に向けて着実に低減。（H29：1,050g→R3：1,001g） ・プラごみ削減取組企業等の登録件数も順調に進捗。（R1：14 件→R4：58 件）
	「とっとり健康省エネ住宅」の普及により県民の健康の維持・増進及び CO ₂ 削減を推進	・とっとり健康省エネ住宅の設計・施工事業者が順調に増加し、R4 において県内工務店の約 8 割が登録済み。 ・新築木造戸建て住宅に対する着工割合も目標値 33% に対して実績 31% と順調に増加。
	二酸化炭素吸収源対策に繋がる「カーボン・オフセット」を活用した森づくりの推進	・県内森林 J-クレジット販売量について目標の 9,150t-Co2 を超える 12,693t-Co2 を達成。 ・県内の森林 J-クレジットを購入しカーボン・オフセットに取り組む企業・団体を、森を守る優良企業等として認定し、J-クレジットの普及を推進。

【Ⅱ 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む】

分野	取組施策	主な成果
①出会い・子育て	妊娠・出産・子育てにおける身体的・精神的負担の軽減	・産後ケアに取り組む市町村数：全 19 市町村の目標を達成。市町村と共同で産後ケアを無償化し、経済的・精神的負担を軽減。
	出会いの機会の充実により、希望を叶える結婚支援事業を展開	・とっとり出会いサポートセンター「えんトリー」による成婚数が、R2～R6 計 120 組の目標に対し R4 年度末で 96 組と順調に増加。 ・マッチングシステムへの AI 導入やスキルアップセミナーの実施、事業所間婚活コーディネーターの配置等、出会い・結婚を望む人への支援を推進。
	医療的ケア児への切れ目のない支援、病気療養児等への教育支援の推進	・R4 に医療的ケア児の総合的な相談支援拠点である「鳥取県医療的ケア児等支援センター」を設置。 ・分身ロボット「OriHime」を活用した遠隔教育支援を行い、児童生徒の学習機会を保障。
②人財ととっとり	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や ICT 活用教育の推進等、市町村・企業等と連携した学びの質の向上	・民間企業と連携し、教員の ICT 活用力・指導力の向上や探究的学習の授業設計ができるリーダー人材の育成を推進。 ・高等学校 2 校に STEAM 教育の拠点となる STEAM Lab を設置し、高校生の自主的、創造的な学びを推進。
	障がい者への理解を深める県民運動の推進に向けたあいサポート運動の普及	・あいサポーター数について 55 万 5 千人の目標を超える 62 万 4848 人の登録を達成。 ・あいサポート企業・団体の認定を行うほか、あいサポートキッズ制度や学校における学習会を通じて若年層への普及を推進。
	多様な主体と連携した SDGs の理念の普及やステークホルダー同士のネットワーク化の推進	・R4 に内閣府が進める「SDGs 未来都市」に選定。 ・SDGs パートナー参画件数は目標を上回り、企業団体 534 件、個人 23 件に増加。

分野	取組施策	主な成果
③支え愛	住民同士の話し合いを通じた暮らしを守るための仕組み（小さな拠点）づくりの推進	・県内各地域において各種生活サービスや地域活動を繋ぐ「小さな拠点」づくりが進み、目標を超える 46 地区において拠点が形成。買い物や通院、外出機会の確保に繋がっている。
	とっとり方式認知症予防プログラムの全県普及により、効果的・積極的な認知症予防を推進	・民間団体等での取組を含め、全 19 市町村でとっとり方式認知症予防プログラムを実施。 ・取組を行う老人クラブへの伴走支援や研修会におけるアイデアをまとめた具体的な事例集の共有により取組を推進。
	人と人との絆を基調とした災害時の助け合い、支え合い活動の推進	・支え愛マップづくりに係る市町村等職員向けの人材育成研修や住民向けの意識啓発研修を開催し、R4 年度に 41 地区が作成。

【III 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ】

分野	取組施策	主な成果
①移住・定住	都市部を中心とした県外ビジネス人材の I J U ターン就職の推進	・プロフェッショナル人材戦略拠点マッチング件数について目標 75 人を超える 592 人 (R2~4) を達成。 ・「鳥取県で週 1 副社長」として副業・兼業人材を募集し、県内企業の経営課題解決に寄与。(R4 成約: 162 社 265 人)
	ワーケーション等の多様な関係人口の創出・拡大による地域活性化、将来的な I J U ターンの促進	・都市圏等在住者を受け入れ地域活性化に取り組む地域・団体数が、目標数 30 を大幅に超える 63 に到達。 ・ファミリーワーケーションの推進や企業と連携した地域課題解決型ツアーの受入れ等、多様な関係人口が拡大。
	産学官金労言による若者流出対策の県民運動の展開	・若者向け就活情報等発信アプリ「とりふる」の登録者数が 18,000 人超に増加。新たにアプリから企業へエントリーできる機能を追加し、県内就職を促進。 ・県外進学者の R4 県内就職率は 37.9% であり、目標 40% に向けて高い水準を維持。
②働く場	デジタル・トランスフォーメーション (DX) によるイノベーション創出や生産性向上の推進	・産学官連携により地域課題解決や産業分野の生産性向上等を目指す「とっとり DX ラボ」の参画企業・団体が R4 年度末で 110 に増加。 ・専門家の伴走支援による DX 導入モデル事例の創出等、企業の DX の取組が進展。
	支援機関と連携した中小企業への事業承継支援の強化	・中小企業の事業継続を支援する「鳥取県事業引き継ぎ支援センター」の成約件数が前年比 1.8 倍の 38 件に増加。 ・R2~6 の事業承継診断件数は目標を超える 7,093 件となり、幅広い企業に事業承継に対する気づきの機会を提供。
	働きたい女性と企業のマッチングによる女性の活躍支援	・県立ハローワークにおける R4 の女性就職決定率は目標の 70% を上回る 88.3% を達成。 ・仕事と家庭の両立を支援する企業の説明会や「ひとり親家庭相談支援センター」「生活困りごと相談窓口」によるワンストップ相談を充実。
③まちづくり	空き家等の利活用による地域活性化、コミュニティ拠点づくり等支援	・空き家や空き店舗利活用のための年間マッチング件数が目標 200 件を超える 210 件を達成。 ・民間団体と連携した空き家利活用の相談件数が前年比約 1.3 倍 (147 件) となるなど、空き家活用の掘り起こしが進んだ。
	誰もが芸術・文化に親しむことのできる拠点づくりに向けて県立美術館の整備を着実に推進	・建設現場の見学会や美術館の概要・収集作品等に係る出前説明会の開催等、理解普及・機運醸成を推進。 ・「アート・ラーニング・ラボ(A.L.L.)」機能の充実に向け、小学生の美術展招待、対話型鑑賞ファシリテーター養成研修、視覚障がい者との鑑賞プログラム等を実施。
	G I S、I o T ネットワークによるインフラ維持管理システムの構築	・道路の損傷状況や位置情報を端末に登録して即時の情報共有・補修発注に繋がったり、GPS・加速度センサーを搭載した道路パトロール車で損傷箇所を自動的に登録するインフラ維持管理システムを構築し、R4 から順調に運用。

(2) 進捗がやや遅れている取組施策 (評価 C)

【コロナ禍の影響を受けたもの】

分野	取組施策	取組状況
観光・交流	温泉と自然・歴史や食との組み合わせ、湯治、まち歩きなど、様々な形で温泉地を楽しむ鳥取ならではの魅力づくりの推進	コロナ禍でイベント、研修、意見交換等の各種取組が実施できず、取組停滞。 〔関連目標〕 ・年間観光入込客数 795 万人 (目標 1000 万人、計画策定時 965 万人)
	外国人観光客の利便性及び周遊性の向上による個人旅行者 (F I T) の獲得	コロナ禍でインバウンドが見込めず、観光周遊タクシー運行支援等の取組が停滞。 〔関連目標〕 ・外国人観光客宿泊者数 12460 人 (目標 270,000 人、計画策定時 194,730 人)

農林水産業	水産物の漁獲量の維持と安定した経営の推進	コロナ禍の影響や時化・資源状況の悪化による水揚量の減少等により、漁業所得が目標値に未達。 〔関連目標〕 ・漁業所得 47 億円（目標 63 億円、計画策定時 59 億円）
働く場	海外とのネットワークや産業の強みを活かし、県内空港・港湾等の物流インフラも活用した海外からの戦略的な需要獲得	ウクライナ情勢の影響で環日本海定期貨客船航路の再開方針が変更。コンテナ不足・海上運賃高騰等の世界的な物流混乱により、事業進捗が停滞。
	女性農業者の経営参画の促進、女性農業者の活動推進や女性リーダー育成に関する取組の支援	女性農業者の技能・資格等の取得支援は増加(R3:3件→R4:6件)したものの、コロナ禍の影響で関係団体による働き方改革・女性活躍関係の講習会等が実施に至らなかった。

【その他のもの】

分野	取組施策	取組状況
農林水産業	地産地消運動の推進による県産農林水産物の利用・消費拡大	市部の使用率減少により学校給食の県産品使用率 66%が「食のみやことっとり食育プラン」の目標値 70%に未達。
支え愛	小規模ながら地域の特色を活かした特産物育成など、魅力溢れる中山間地域農業の推進	中山間地の就農者の高齢化・新規担い手不足等により取組の拡大が進まず、成果不十分。
	中山間地域における IT・コンテンツ関連企業等による「先駆型ラボ」の開設、中山間地域のコミュニティビジネスの拡大推進	R4 年度に中山間地域に先駆型ラボを開設した企業なし。(R2～3 開設実績 3 件)
まちづくり	県民の生命・財産を守り、減災に繋げるための住宅・建築物の耐震化促進	住宅耐震化率が約 86%に留まり、耐震改修促進計画による R7 目標：92%に対して進捗が遅れ。
	県内地方団体や関係府県等と連携した山陰における新幹線構想の前進	関係府県等と連携した要望を行うも、国において整備に向けた具体的な動きが見られず。